

【北海道】体感型防災アトラクションにより防災訓練を開催しました

- 防災訓練の自発的な参加、自助・共助の強化を目的にエンターテイメント性の高い訓練として『体感型防災アトラクション』を実施。
- 実際の浸水被害の様子を視覚により体験することが出来るARを用いた仮想浸水体験を実施。
- 水防災再構築ビジョンの取り組みとして、減災対策協議会において各関係機関との共同開催を確認していたこともあり、それぞれの役割(事前告知・当日の会場準備等)を連携しながら実施。
- 参加された方から、「楽しかったです。災害の時に必要なものがわかりました。」との感想がありました。

体感型防災アトラクション 概要

目的：昭和63年に発生した留萌川における大規模出水発生から30年の節目を迎え、防災アトラクションを通して、災害時に必要な行動力を身につけ、自助・共助の重要性を体感することを目的とする。

実施日：平成30年9月2日(日)

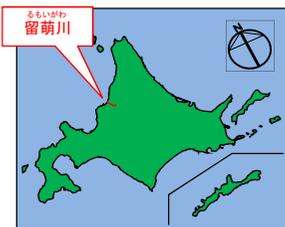
実施場所：留萌合同庁舎
(留萌市住之江町2丁目1番地2)

主催：留萌開発建設部

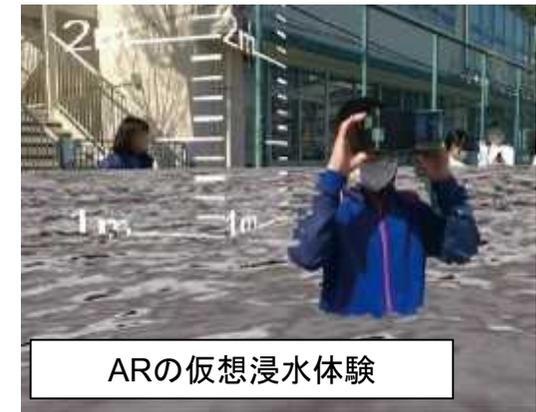
共催：留萌市、留萌振興局

参加人数：約150人

取組内容：防災アトラクション、防災レクチャー



訓練の様子



ARの仮想浸水体験

訓練終了後の振り返り



防災アトラクションのちらし